

貧酸素水塊速報 (2009年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 〔協力〕 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年4月20日観測結果

底層に貧酸素水塊が確認されましたので、今年の発行を開始します。

貧酸素水塊は内湾北部のほぼ全域で見られ、DOが1ml/L以下と強く貧酸素化している海域も湾奥に分布していました(図1)。縦断ラインでは、貧酸素水塊は海底から数mの厚みで分布していました(図2)。貧酸素水塊の規模はおよそ5%でした(図3)。近年は、同時期の規模はほぼ0%なので、今年は貧酸素化がやや早く進行していました。

4月18日に千葉港内で青潮が発生した模様です(千葉海上保安部からの情報)。なお、千葉港内以外では、青潮は確認されていません。

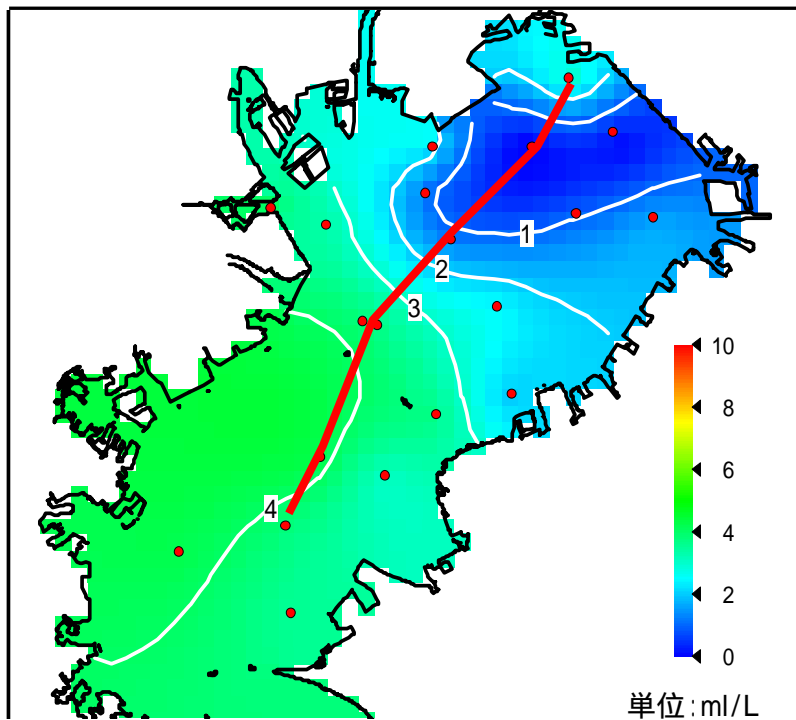


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

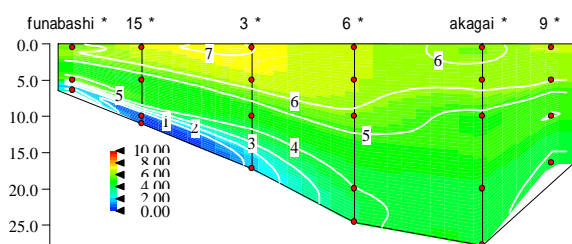


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

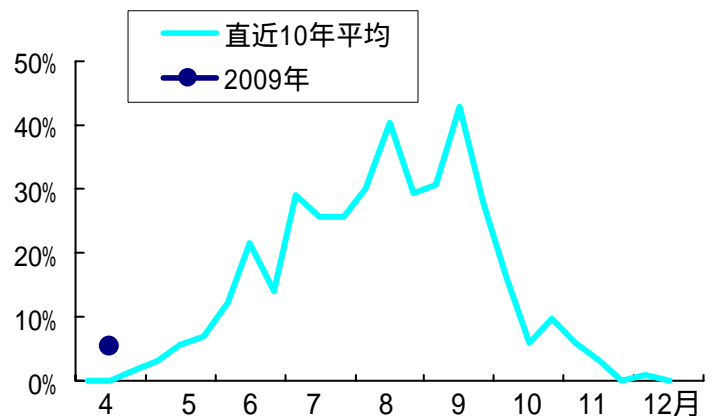


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)